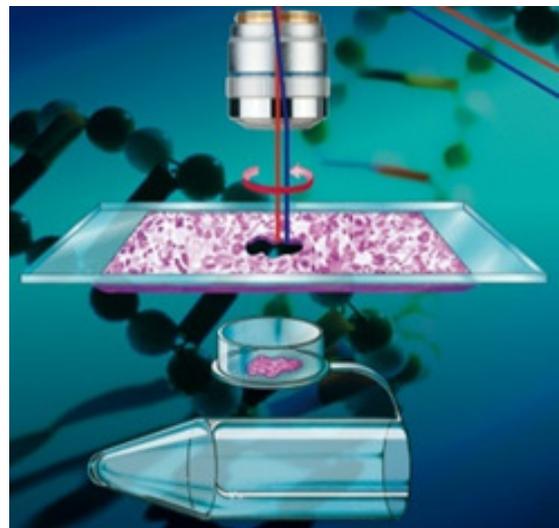


レーザーマイクロダイセクション(LMD) テクニカルセミナー・機器取扱い説明会 及び蛍光イメージング最新情報のご紹介



Leica レーザーマイクロダイセクション LMD6500

レーザーマイクロダイセクション(LMD)では、顕微鏡下で個々の細胞や組織を観察し、レーザーを用いて周囲から単離、回収することで、コンタミネーションを少なくDNA、RNA、タンパク質を抽出し、より精度の高い実験結果を得ることができます。今回、LMDの用法、使用例をご紹介するテクニカルセミナーのほか、取扱い説明会では霞総合研究棟 119号室に設置のライカ LMD6500 を使用して操作方法をご説明いたします。



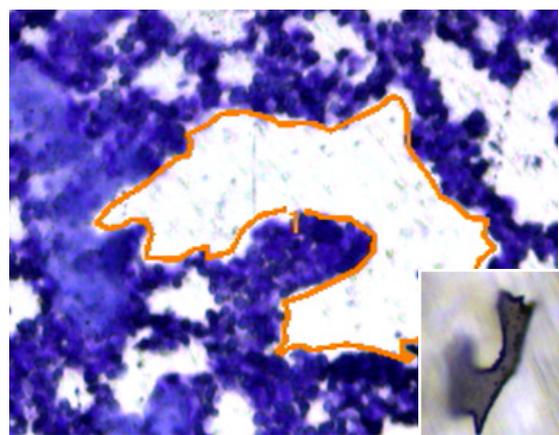
【スケジュール】

〈11月24日(木)〉

テクニカルセミナー(場所:霞総合研究棟 701号室)
15:00~16:30

〈11月25日(金)〉

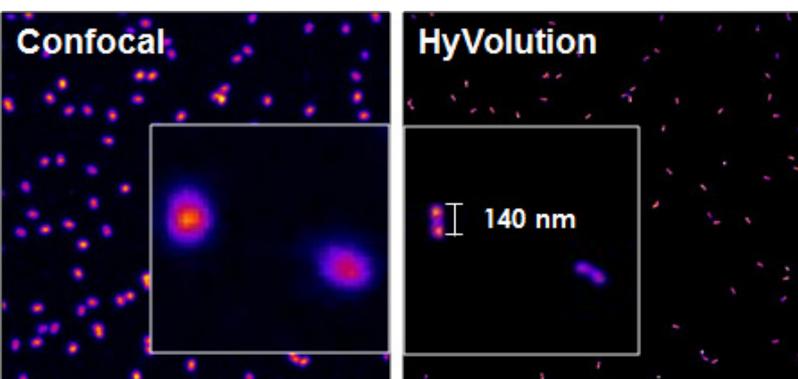
取扱い説明会(場所:霞総合研究棟 119号室)
10:00~11:30 (第1回)
13:00~14:30 (第2回)
15:00~16:30 (第3回)



蛍光イメージング最新情報のご紹介

(超解像蛍光イメージング Leica TCS SP8 STED & HyVolution)

超解像顕微鏡は、2014年ノーベル化学賞が授与(STED、PALM)されたことにより論文数も加速度的に増加しております。STED 顕微鏡は“唯一の光学的手法”で XY 方向 50 nm 以下、Z 方向 130 nm 以下の真の超解像を実現しました。



また、HyVolution はライカ独自の高感度検出器 HyD と超解像アルゴリズムにより、共焦点レーザー顕微鏡で 140 nm のマルチカラー超解像イメージングが可能になりました。

今回、光学的手法による超解像顕微鏡の技術的進化と今後の可能性について紹介いたします。

(※超解像顕微鏡のデモはありません)

申し込み・連絡先: 自然科学研究支援開発センター 生命科学実験部門 生命科学機器分析部門
霞総合研究棟122号室 電話 082-257-1510 内線: (霞) 6170 (池宗) / 6792 (入砂)
Email: acols@hiroshima-u.ac.jp HP: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/acols/>

申し込み締め切り: 11月18日(金) 17時まで